

学習内容報告書

学校名	岩美町立岩美西小学校
授業者	脇田 千晶

1. 単元計画

1-1. 単元名

岩美の生き物・自然環境守ろう隊

1-2. 学年

4年

1-3. 教科

総合的な学習の時間・国語

1-4. 単元の概要

- ・岩美の宝について、校長先生のお話を聞く。
- ・磯の観察会を行い、岩美の山陰海岸ジオパークの景観や生き物にふれる。
- ・岩美の海に生息する生き物やごみの様子についての写真を見て話合う。
- ・課題を共有し、解決策を考える。
- ・大谷海岸清掃を行う。
- ・大谷海岸清掃で集めたごみを分別し、自分たちができることについて考える。
- ・学習を通して知った自然環境の豊かさや、ごみ問題について地域の方に伝える新聞を作成する。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

岩美町は、山陰海岸ジオパークに認定される程、自然豊かな地域である。しかし、海の近くに住んでいる児童は、その景観の素晴らしさや、「岩美ブルー」と呼ばれる海中の透明度の高さ、生物の豊富さについてあまり知らないことが分かった。海に出かけたり松葉ガニを食べたりすることは、児童にとって身近なことであるが、そのありがたさには気付いていないようであった。そこで、岩美町の海に焦点を当て、生き物とのふれ合いを通して自然環境の豊かさに気づき、地域の一員として自分たちにできること（環境保全の取り組み）はないかを探求する単元を設定した。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

【課題を見つけ解決する力】

- ・岩美町の自然環境について、課題をつくり、解決の見通しをもつことができる。（知識・技能）
- ・課題解決に向けて、観点に合わせて情報を整理し考えたり、まとめたりすることができる。
（思考・判断・表現）
- ・岩美町の自然環境に興味をもち、探求活動に進んで取り組もうとする。（主体的に学習に取り組む態度）

【自己を表現する力】

- ・岩美町に生息する生き物の名前や山陰海岸ジオパークの地形等について情報を収集し、新聞を作成することができる。（知識・技能）

- ・相手や目的に応じて、情報を整理し、新聞等で表現することができる。(思考・判断・表現)
- ・地域との関わりの中で自分にできることを見つけ、発信しようとする。(主体的に学習に取り組む態度)

【人とかかわる力】

- ・磯の観察会での学芸員の話聞き、岩美町の自然環境の豊かさに気付くことができる。(知識・技能)
- ・地域の方や広告業者の方等との出会いを通して様々な考えを知り、地域に誇りをもつと共に地域とつながろうとすることができる。(思考・判断・表現)
- ・課題解決に向け、自分と違う意見や考えのよさを生かしながら協働して学び合おうとする。
(主体的に学習に取り組む態度)

1-7. 単元の展開 (全73時間)

時数	学習活動・主な内容	・教師の指導 / ※主な評価 ☆外部連携 / ○使用教材等
5	○岩美の宝とは？ ・自分の考える岩美の宝を発表する。 ・校長先生より岩美の宝についてのお話を聞く。 ・お話を聞いて心に残った岩美の宝について意見を交流する。 ・自分たちで調べたい岩美の宝を話し合う。 ・決まったテーマ(海)について、更に知りたいことを話し合い、学習計画を立てる。	・校長、担任による指導 ○岩美町役場のパンフレット使用 ※岩美町の自然環境について、課題をつくり、解決の見通しをもつことができる。 【課題を見つけ解決する力】(知識・技能)
22	○海の生き物について調べ、新聞発表をしよう。 ・図書館で海の生き物調べを行う。 ・磯の観察会を行い、大谷海岸の生き物調べを行う。 ・グループごとに新聞にまとめる。 ・まとめた新聞の発表会を行う。 (4年生に向けて・3年生に向けて)	・担任による指導 ☆海と大地の自然館 学芸員との連携 ※磯の観察会での学芸員の話聞き、岩美町の自然環境の豊かさに気付くことができる。 【人とかかわる力】(知識・技能) ※岩美町に生息する生き物の名前や山陰海岸ジオパークの地形等について情報を収集し、新聞を作成することができる。 【自己を表現する力】(知識・技能)
15	○岩美の海について、もっと知ろう。 ・千貫松島や鴨が磯での磯の観察会を行う。 ・担任撮影による海中撮影の写真を見る。 ・提供してもらった海中のごみの写真を見る。 ・磯の観察会や海中写真の学習を通して、考えたことを交流する。 ・海の自然環境(ごみ)に焦点を当てた学習計画を話し合う。	・担任による指導 ☆海と大地の自然館 学芸員との連携 ☆ブルーライン田後 写真提供 ※磯の観察会での学芸員の話聞き、岩美町の自然環境の豊かさに気付くことができる。 【人とかかわる力】(知識・技能) ※岩美町の自然環境に興味をもち、探求活動に進んで取り組もうとする。【課題を見つけ解決する力】 (主体的に学習に取り組む態度)

5	<p>○大谷海岸清掃をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大谷海岸清掃とごみの分別を行う。 ・海岸清掃をして気付いたことや考えたことを話合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担任による指導 <p>※課題解決に向け、自分と違う意見や考えのよさを生かしながら協働して学び合おうとする。</p> <p>【人とかかわる力】(主体的に学習に取り組む態度)</p>
25	<p>○学習したことを地域の方に発信しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習したことを振り返り、地域の方に伝えたいことを話合う。 ・グループに分かれてwordで新聞を作成する。 ・作成した新聞をクラスで見合い、改善点を話合う。 ・広告会社の方に新聞作成のこつを教わる。 ・power pointを使って新聞を改良する。 ・新聞を置く場所について話し合う。 ・新聞設置のお願いの電話をする。 ・新聞を置かせてもらう施設へ出かけ、新聞を手渡しする。(写真①参照) 	<ul style="list-style-type: none"> ・担任による指導 <p>☆広告会社(アドセンターパル)の方が、ゲストティーチャーとして指導</p> <p>☆岩美町役場他、地域の各施設と連携</p> <p>※地域との関わりの中で自分にできることを見つけ、発信しようとする。【自己を表現する力】(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>※課題解決に向けて、観点に合わせて情報を整理し考えたり、まとめたりすることができる。</p> <p>【自己を表現する力】(思考・判断・表現)</p> <p>※地域の方や広告業者の方等との出会いを通して多様な考えを知り、地域に誇りをもつと共に地域とつながろうとすることができる。</p> <p>【人とかかわる力】(思考・判断・表現)</p>
1	<p>○学習のまとめをしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年間の学習を振り返り、初めて知ったことや考えたこと、できるようになったことについて話合う。 ・学習の成果を知り、今後の生活に役立てたいことを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担任による指導 <p>※地域の方や広告業者の方等との出会いを通して多様な考えを知り、地域に誇りをもつと共に地域とつながろうとすることができる。</p> <p>【人とかかわる力】(思考・判断・表現)</p>



写真① 完成した新聞

2. 学習活動の実際

2-1. 単元における位置づけ

単元 7 3 時間中の 4 1 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

- ・岩美町の海の写真を見る活動を通して、高い透明度の中でくらす生き物と共に、漂着したごみや海中に沈むごみがあることを知り、課題解決に向けて今後の活動計画を考えることができる。

【課題を見つけ解決する力】（思考・表現・判断）

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / ○発問 / ・予想される児童の反応	・教師の指導、支援 / ※評価の視点（方法）
<p>1 前時の学習を振り返り、本時の学習を確認する。</p> <p>○岩美の海にはどんな生き物がいましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソラスズメダイ ・コケギンポ ・イソガニ ・カワハギ ・ウニ ・ゴンズイ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0; text-align: center;">さらに岩美の海の様子を見て、考えたことを交流しよう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・磯の観察会や前時までに見た岩美町の生き物を想起させ、本時への学習への関心を高める。
<p>2 海の写真を見て話し合う。</p> <p>○透明度 20 m の海の中の様子はどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きれい。透き通っている。 ・アジの群れが一斉に同じ方向へ泳いでいる。 ・すごい。 ・入ってみたい。 <p>○次の写真（ごみの写真）を見て、あなたはどのように思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何これ。ごみがいっぱいたまっている。 ・このままだと大変なことになる。 ・人間が出したごみばかりだ。 ・このままだと、魚が食べてしまうかもしれない。 ・ひっかかって死んでしまうかもしれない。 ・何とかならないのかな。 <p>○自分たちができることはないでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ拾い、分別。 ・新聞やポスターでよびかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担任が撮影した海中の写真や動画を見せることで、実際の様子を知らせることができるようにする。 ・写真や動画と共に生き物の特徴などを知らせ、児童に岩美町には様々な種類の生き物が生息していることを気付かせる。 ・ブルーライン田後から提供された岩美町の海のごみの写真を見せることで、児童が自然の素晴らしさとのギャップを感じることができるようにする。 ・写真を見せる際、ごみが出る理由や生き物への影響を考えさせることで、課題に迫る。 ・「もしも、ごみが増え続けると…」という児童の想像力を大切にして様々な意見を交流させることで、今後の活動計画を考えるきっかけとする。 <p>※漂着したごみや海中に沈むごみがあることを知り、課題解決に向けて今後の活動計画を考えることができる。（ワークシート）</p>
<p>3 ふり返しを行う。</p> <p>○学習を通して考えたことや、これからの活動について考えたことを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・透明な世界がすごいと思ったけれど、ごみがあったら残念だった。ごみ拾いをしたいと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真や話し合いを通して考えたことをワークシートに書くことで、児童の考えを残し、次時の学習に役立てることができるようにする。

3. 今回の活動の自己評価

- ・ゴールイメージ（地域の方に新聞を発行して岩美の環境について考えてもらいたい！）を児童と共有することで、学習のねらいが明確となり、主体的な児童の姿が見られた。（写真②参照）
- ・磯の観察会や大谷海岸清掃等の体験活動を通して、児童が岩美の自然環境に興味をもち、進んで環境を守るためにできることはないかと考え、学習することができた。（写真③、写真④参照）
- ・海と大地の自然館やブルーライン田後の方々との協力のもと、より具体的な海の姿や生き物の名前や特徴を知ることができた。（写真⑤参照）
- ・広告業者（アドセンターパル）の方のアドバイスを聞くことで、相手意識をもちながら新聞を制作することができた。（写真⑥参照）
- ・地域との関わりを通して、児童は地域の方々の温かさにふれ、地域のことに関心をもつことができた。（写真⑦⑧参照）



写真② 単元の全体計画掲示



写真③ 磯の観察会の様子



写真④ 清掃活動の様子



写真⑤ 海中写真を見る様子



写真⑥ 広告会社から学ぶ様子



写真⑦ 電話対応の様子



写真⑧ 新聞手渡しの様子

4. 今後の課題

- ・探求し、完成度を高めれば高める程、時間数が増えていってしまった。余裕をもって学習を進めることができるように、ゴールをどこまでにするのかを担当が計画的に見極めることが必要であった。
- ・様々な機関と連携して学習を進めることができた一方、かけた時間と労力が非常に大きいため、持続可能な学習とは言いづらい。児童の満足感や達成感を保持し、学習の範囲内で可能な内容に厳選する必要があると感じた。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

- ・児童の写真があるため、無断で転用することのないようにお願いします。

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。